NIIGATA PREFECTURAL KAIYO HIGH SCHOOL

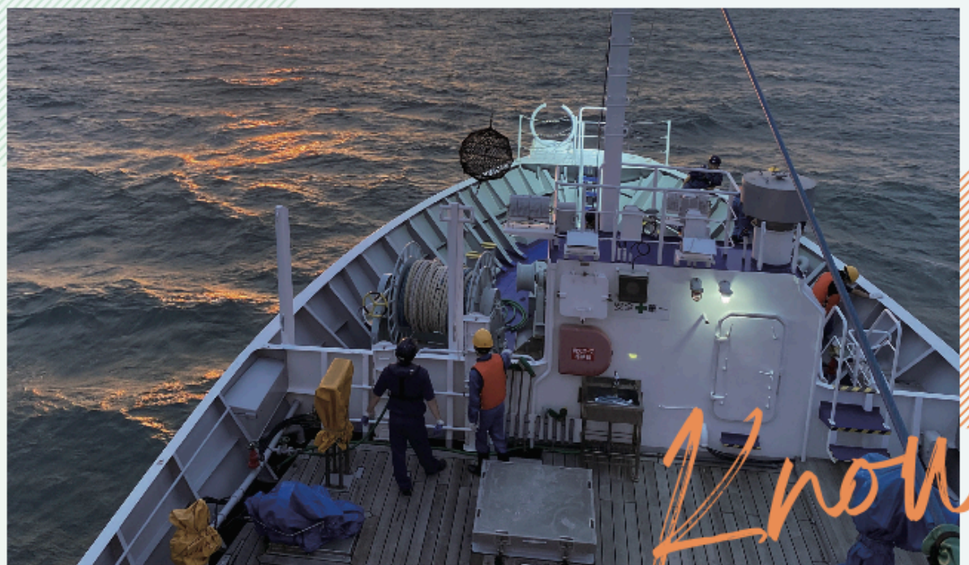
TOTAL SCHOOL GUIDE BOOK 2027

learn



海に学ぶ。

海を知る。



know

新潟県立海洋高等学校
NIIGATA PREFECTURAL KAIYO HIGH SCHOOL

新潟県立海洋　検索

「海·船·魚」のことを本気で学べる

本校の創立は、明治31年(1898年)、地域の熱い期待を担って、尋常高等小学校で「水産」の授業が開始され、「能生町立水産補習学校」として開学したことにさかのぼります。平成5年に校名を「新潟県立海洋高等学校」に改称し、地域連携をとおして「地方創生に挑戦する学校」として教育活動を継続し、今年度に創立128年を迎えます。

本校の1年生は、水産科として水産・海洋に関する内容を広く学習します。そして、2年生からは、水産資源科(資源育成コース・食品科学コース)と、海洋開発科(海洋技術コース、海洋創造コース)の2学科(4コース)に分かれ、それぞれ専門的な内容を学習します。生徒は、確かな学力と技術を身につけるため、実習船「海洋丸」、潜水実習プール、栽培漁業実習施設、食品科学実習施設、海洋工学実習施設など、大変恵まれた施設・設備を活用し、生き生きと学習活動に取り組んでいます。

本校は、昨年まで糸魚川市及び水産加工販売業者である株式会社能水商店と連携し、文部科学省委託事業「マイスター・ハイスクール事業」に取り組んでまいりました。今後は、同事業を通して培った知識や技術を次の世代へと継承するとともに、教職員の英知や地域の力、さらには大学等との連携により高度な知識や技能を段階的に取り入れ、水産業を担う人材の育成に一層取り組んでまいります。

このように、「海·船·魚」のことを本気で学べる本校に入学し、海洋立国日本を担うスペシャリストを目指してみませんか。本校のホームページでは、日々の教育活動や生徒の様子等について、タイムリーな情報をお届けしております。そこから、本校の魅力や生徒たちの活躍を、多くの皆様に知っていただければ幸いです。

新潟県立海洋高等学校長　富田　紀男

教育目標

人間として調和のとれた育成を目指し、一般的な教養を高め個性を生かす教育の充実に努め、社会の変化に主体的に対応できる能力を育て、望ましい職業観、勤労観を育成する。

01 質実剛健
飾り気がなくまじめで、心やからだが強くたくましいこと。

02 進取力行
みずから進んで積極的に新しい事をなし、精一杯努力して取り組むこと。

03 水産報国
水産・海洋関連の仕事を通じ、我が国及び国際社会に貢献すること。

FUTURE 生き生き学べる特徴的な活動

1 1年生基礎教育の充実

- 科目「水産海洋基礎」
  水産海洋に関する全ての学問分野の座学および実習
- 科目「地域探究」
  糸魚川市の自然・歴史・文化・食・産業について体験をとおして理解を深め、地域と協働して「地域おこし」の可能性を探究します。

2 実習船「海洋丸」による乗船実習

- 1年生の体験航海
- 海洋技術コースの国内航海
- 海洋創造コースの新潟県沿岸航海



3 先進的な探究学習

- 国内唯一のHACCP(危害分析に基づく重要管理点による管理)方式による冷くん品の製造実習(食品科学コース)
- 高級魚「アカムツ」の種苗生産・放流実習(資源育成コース)
- DNA分析によるチョウザメの雌雄判別(資源育成コース)
- 海洋資源・海洋エネルギーに関する学習(海洋創造コース)

4 地域貢献、社会貢献

- 交流人口拡大を目指した集客イベントの開催
- 企業との連携による水産加工品開発、販売
- ヒラメ・アカムツの養殖・放流
- 県警・消防署・地域の救命訓練での水深10m潜水プールの活用
- 海岸清掃、魚付き保安林などの海洋環境保全活動

CURRICULUM 学科·コースの特色

実習船「海洋丸」(322t)、水深10m潜水プール、栽培漁業臨海実習棟など、県内屈指の施設·設備の中で、学びたいことを思い切り学習することができます。



1年生　水産科

2·3年生　水産資源科
水産食料の生産に関する基本的な知識と技術を習得させ、その社会的な意義と役割を理解して生産分野で活躍できる産業人を育成します。

2·3年生　海洋開発科
漁業資源の有効利用·管理および船舶運航、海洋空間や海洋エネルギーの開発·利用および環境保全に関する基本的な知識と技術を習得させ、水産·海洋関連産業で活躍できる産業人を育成します。

Fishery Cultivation 資源育成コース	Fishery Provision 食品科学コース	Marine Technology 海洋技術コース	Marine Engineering 海洋創造コース
(定員20名※)	(定員20名※)	(定員20名※)	(定員20名※)

※各コースの定員は入学者数の25%とする

SCHEDULE 海洋高校の1年



海洋高校の制服



4月～6月
- 入学式
- 対面式·生徒会オリエンテーション
- 生徒総会
- PTA総会
- 生徒意見·体験発表会
- スプリングトーナメント
- 出張学校説明会
- 1学期期末考査

7月～9月
- 1年生体験乗船
- カッター大会
- 三者面談
- マリンスポーツ集中実習
- 体験クルージング
- 体験入学
- 1年生インターンシップ

10月～12月
- 生徒研究発表大会
- 1年生上級学校見学
- 井陵祭(文化祭)
- 学校説明会
- 生徒会長選挙
- 修学旅行
- 2学期期末考査
- ウインタートーナメント

1月～3月
- 生徒総会
- スキー授業
- 校内ビジネスプランコンテスト
- 学年末考査
- 卒業式
- 入学者選抜
- 離任式
- 合格者オリエンテーション

各行事の時期は変更となる場合があります

CLUB ACTIVITY 部活動

ダイビング部、カッター部、相撲部、食品研究部等は全国的な活躍をしています

- 野球部
- バスケットボール部
- バレーボール部
- バドミントン部
- カッター部
- ダイビング部
- 相撲部
- 柔道部
- 食品研究部
- 海洋生物研究部
- 美術部



水産資源科

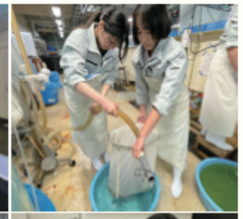
資源育成コース

FC : Fishery Cultivation

卒業後の主な進路 ― 水産関連会社(養殖場) / 大学等進学 など











豊かな海づくりへの挑戦

Let's cultivate fish together
~いっしょに魚を育てよう~

有用魚介類であるヒラメやアカムツ、チョウザメ、マコンブなどの種苗生産・放流、養殖に関する学習を通じて、水産生物をつくり育てるための知識や技術を学習したり、生命の神秘や命の大切さ・尊さについて学びます。



主な専門科目

総合実習 有用魚介類であるヒラメやアカムツ、チョウザメ、マコンブなどを対象に、種苗生産、放流、養殖、フィールド調査に関する基本的な知識と技術を発展的に学びます。



海洋生物 海洋や陸水に生きる多様な生物の体の仕組みや生態について学びます。

資源増殖 有用魚介類を対象に、種苗生産や育成技術などの増養殖に関する知識と技術を学びます。

海洋環境 海洋や陸水における環境の特性とそこで生活する生物との関連について学びます。

カリキュラム表

1年	現代の国語	言語文化	公共	数学Ⅰ		化学基礎	体育		保健	芸術選択(英術Ⅰ・書道Ⅰ)	英語コミュニケーションⅠ	水産海洋基礎				海洋情報技術	地域探究	ホームルーム活動							
2年	国語表現	地理総合	数学Ⅱ	生物基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	家庭総合		課題研究	総合実習	水産海洋科学	資源増殖	海洋生物	海洋環境	小型船舶	ホームルーム活動								
3年	国語表現	歴史総合	数学Ⅱ	物理基礎	体育	英語コミュニケーションⅡ	家庭総合	課題研究	総合実習		資源増殖	海洋生物	海洋環境	ダイビング	ホームルーム活動										

在校生の声



宮澤 葵（水産資源科 資源育成コース・3年）

私は幼少期から海洋生物に興味があり、よく水族館に行っていました。海洋高校では、大学や水族館等と連携した実践や研究を数多く行っており、とても充実した学習活動ができると思い、入学を決めました。入学後は、水産業に貢献するような実践的な取組みや研究活動に参加させていただき、かけがえのない高校生活を送ることができています。卒業後は水産、海洋系の大学に進学し、生物と環境について学び続けたいと考えています。

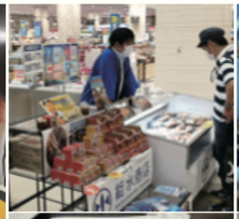
水産資源科

食品科学コース

FP : Fishery Provision

卒業後の主な進路 ― 食品製造会社/小売・サービス業/大学進学 など











安全な食品を「つくる」「売る」楽しさの追求

『サカナ』で地域活性化!

安心安全な食品を「加工」するだけでなく、どのように「販売」していくかを学びます。学びのフィールドは学校だけでなく、企業や地域です。さまざまな体験をとおして課題を見つけ、『サカナ』で地域を盛り上げていく学習活動に取り組みます。



主な専門科目

総合実習 2年生は主に魚介類を活用した調理実習、3年生は国際的に標準化された衛生管理システムであるHACCPを導入した水産加工実習を行います。



食品製造 食品の製造原理や加工技術に関する知識と技術を学び食品工場で生産管理をする基礎的な能力を身に付けます。

食品管理 食品の成分分析や微生物について実験を通じて食品の品質管理と安全管理に関する知識と技術を学びます。

調理科学 調理や献立、配膳等に関する知識と技術を科学的かつ文化的な視点で学びます。

カリキュラム表

1年	現代の国語	言語文化	公共	数学Ⅰ		化学基礎	体育		保健	芸術選択(英術Ⅰ・書道Ⅰ)	英語コミュニケーションⅠ	水産海洋基礎				海洋情報技術	地域探究	ホームルーム活動							
2年	国語表現	地理総合	数学Ⅱ	生物基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	家庭総合		課題研究	総合実習	小型船舶	食品製造	食品管理	調理科学	ホームルーム活動									
3年	国語表現	歴史総合	数学Ⅱ	物理基礎	体育	英語コミュニケーションⅡ	家庭総合	課題研究	総合実習		食品製造	食品管理	水産流通	ホームルーム活動											

在校生の声



知野　洋弓（水産資源科 食品科学コース・3年）

私は、将来家業である釣り具店を継ぎたいと考え、海に関わる専門的な学びができる新潟県立海洋高等学校への入学を決意しました。食品科学コースでは、「あんこうの吊るし切り」に挑戦しました。初めて扱う大きな魚に戸惑い、何度も練習を重ねました。実演をやり遂げたときには大きな達成感を味わい、「努力は自信につながる」ということを実感しました。卒業後は大学へ進学し、さらに専門的に学びたいと考えています。

海洋開発科

海洋技術コース

MT : Marine Technology

卒業後の主な進路 ― 漁業従事者 / 船舶職員 / 大学等進学 など







人間と海の明日を拓く

大海原に挑戦を!

海洋技術コースのフィールドは海上です。そこで活動するためには「船」を自在に操る必要があります。操船技術や航法計算、海上での交通方法を学習します。また、魚を獲るための漁法や永久的に漁獲するための管理方法について取り組みます。




主な専門科目

総合実習／課題研究 実習船「海洋丸」「くびき」による乗船実習（漁業実習）等の他、一級小型船舶操縦士免許取得に必要な知識と技術を学びます。

航海・計器 船舶を安全にかつ適切に航海させるために必要な航法や航海・計器、海上法規など海技士（航海）免状取得に必要な知識と技術について学びます。

漁　業 国民に良質な動物性タンパク質を安定供給するために必要な資源管理型漁業や漁業経営に関する知識と技術について学びます。

船舶運用 船舶を安全にかつ適切に運用するために必要な操船や整備、海上気象など海技士（航海）免状取得に必要な知識と技術について学びます。

カリキュラム表

1年	現代の国語	言語文化	公共	数学Ⅰ		化学基礎	体育		保健	芸術選択（美術Ⅰ・書道Ⅰ）	英語コミュニケーションⅠ	水産海洋基礎		海洋情報技術	地域探究	ホームルーム活動					
2年	国語表現	地理総合	数学Ⅱ	物理基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	家庭総合		課題研究	総合実習		漁業	航海・計器	船舶運用		30日航海	ホームルーム活動			
3年	国語表現	歴史総合	数学Ⅱ	生物基礎	体育	英語コミュニケーションⅡ	家庭総合		課題研究	総合実習	航海・計器		船舶運用		小型船舶	30日航海	ホームルーム活動				

在校生の声



中村 春希（海洋開発科 海洋技術コース・3年）

私は将来、漁師になることを目指しており、充実した実習施設・設備がある地元の海洋高校に入学しました。私の学ぶ海洋技術コースでは安全な航海をするための知識や技術を学ぶ「航海・計器」や「船舶運用」、漁業に必要な知識を学ぶ「漁業」という科目があります。2・3年時には座学で学んだことを実務として生かす1ヶ月の乗船実習があります。乗船実習では、陸上では経験できない実習をすることができ、また船員さんから直接指導していただくことで、自分を成長させることができます。卒業後は家業を継ぐため、水産系の大学に進学することを目指しています。

海洋開発科

海洋創造コース

ME : Marine Engineering

卒業後の主な進路 ― 海洋工事業 / サルベージ業 / 総合建設業 / 大学等進学 など







海を造る、海と共に生きる未来を創る

キー・ワードは3つのE

海洋の「環境」を理解し、開発・制御する「技術」を身につけた、海洋空間創造の「専門家」を目指します。

環境	技術	専門家
Environment（エンバイロンメント）	Engineering（エンジニアリング）	Expert（エキスパート）

主な専門科目

総合実習 ダイビング、測量、溶接の基礎的な技術を習得した後、それらを応用した送気式潜水による水中作業などを行います。また、乗船実習では海洋観測や自然海域でのダイビングを行います。



海と陸の建設工事 海洋および沿岸域の建設工事を安全に行うために必要な知識と技術について学びます。

海洋環境 海洋環境の開発・保全・修復を安全に行うために必要な知識と技術について学びます。

ダイビング 海洋工事や海洋環境調査で潜水を安全に行うために必要な知識と技術について学びます。

カリキュラム表

1年	現代の国語	言語文化	公共	数学Ⅰ		化学基礎	体育		保健	芸術選択（美術Ⅰ・書道Ⅰ）	英語コミュニケーションⅠ	水産海洋基礎		海洋情報技術	地域探究	ホームルーム活動					
2年	国語表現	地理総合	数学Ⅱ	物理基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	家庭総合		課題研究	総合実習	水産海洋科学	海洋環境	ダイビング	海と陸の建設工事	海と陸の測量	ホームルーム活動				
3年	国語表現	歴史総合	数学Ⅱ	生物基礎	体育	英語コミュニケーションⅡ	家庭総合		課題研究	総合実習	水産海洋科学	海洋環境			海と陸の建設工事		ホームルーム活動				

在校生の声



甲野 龍星（海洋開発科 海洋創造コース・3年）

幼い頃から海や船に親しみ、海について深く学びたいという思いから地元の海洋高校へ進学しました。1年生で各コースの基礎的な学習を通して、海洋創造コースを選択しました。1年生からは海洋開発に必要な知識・技術を学んでいます。中でも測量実習が最も好きで、精確な測量結果が得られたときには大きな達成感を覚え、次の実習への意欲につながっています。このような学びや経験から、沿岸域の安心・安全を支える技術者として働きたいという思いが強まりました。卒業後は地元の市役所の専門技術職として、学んだ知識と技術をいかし、地域社会に貢献していきたいと考えています。

取得可能資格・検定

水産科

- 水産海洋技術検定
- 普通救命講習修了
- 文部科学省後援硬筆書写検定3級
- 文部科学省後援硬筆書写検定4級
- 漁業技術検定
- 海洋情報技術検定
- 特殊小型船舶操縦士
- 糸魚川ジオパーク検定



水産資源科

資源育成コース

- 栽培漁業技術検定2級
- 二級小型船舶操縦士
- 潜水士
- 乙種4類危険物取扱者
- 丙種危険物取扱者

食品科学コース

- 食品技能検定(第1類)
- 食品技能検定(第2類)
- 食品技能検定(第3類)
- HACCP基本技能検定
- 食物調理技術検定2級
- 食物調理技術検定3級
- 食物調理技術検定4級
- 食品衛生責任者
- 二級小型船舶操縦士
- リテールマーケティング(販売士)検定3級
- 乙種4類危険物取扱者

海洋開発科

海洋技術コース

- 五級海技士(航海)
筆記試験免除・免許講習修了
- 四級海技士(航海)筆記試験
- 一級小型船舶操縦士
- 第二級海上特殊無線技士
- 潜水士
- 乙種4類危険物取扱者
- 丙種危険物取扱者
- 上級救命講習修了

海洋創造コース

- 潜水士
- 二級小型船舶操縦士
- 2級土木施工管理技士補
- 港湾潜水技士(3級)学科
- ガス溶接技能講習修了
- アーク溶接特別教育修了
- 小型車両系建設機械
(掘削・積込・整地)特別教育修了
- 潜水技術検定2級
(ダイビング認定証・エントリーレベル)



卒業後の進路

過去3年間の実績 (令和5年度～令和7年度)



	令和7年度	令和6年度	令和5年度	合 計
卒業者	64	74	62	200
就 職	29	32	32	93
進 学	35	41	30	106
その他	0	1	0	1

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	合 計
就 職	29	32	32	93
大 学	15	17	8	40
短期大学	8	6	6	20
専門学校等	12	18	16	46
その他	0	1	0	1
合 計	64	74	62	200

主な進学先

大学

- 長崎大学
- 石巻専修大学
- 金城大学
- 朝日大学
- 近畿大学
- 帝京科学大学
- 富山国際大学
- 愛知学院大学
- 日本大学
- 吉備国際大学
- 金沢学院大学
- 太成学院大学
- 東海大学
- 人間環境大学
- 日本体育大学
- 福山大学
- 長崎総合科学大学
- 国士舘大学
- 東京農業大学
- 長岡大学
- 立命館大学

大学校等

- 水産大学校
- 清水海上技術短期大学校
- 宮古海上技術短期大学校
- 波方海上技術短期大学校
- 小樽海上技術短期大学校
- 新潟県農業大学校
- 新潟工業短大
- 富山短期大学

専門学校

- 日本さかな専門学校
- 国際ペットワールド専門学校
- TCA東京ECO動物海洋専門学校
- 国際調理製菓専門学校
- 新潟調理師専門学校
- にいがた製菓・調理専門学校えぶろん
- 新潟工科専門学校
- 新潟コンピュータ専門学校
- 新潟デザイン専門学校
- 大阪バイオメディカル専門学校
- 日本アニメマンガ専門学校
- 国際ビューティーモード専門学校
- 長岡こども福祉カレッジ
- 上越テクノスクール

主な就職先

水産・海洋関係

- 弓ヶ浜水産株式会社
- 近畿大学水産研究所
- 大日養鰻場株式会社
- 兼升養魚漁業生産組合
- 共同船舶株式会社
- 太洋エーアンドエフ株式会社
- 佐渡汽船株式会社
- 播洋実業株式会社
- 新潟潜水興業株式会社
- アジア海洋株式会社
- 東日本海洋建設株式会社
- 神奈川潜水有限会社
- 荒沢工業株式会社
- 新潟中央水産市場株式会社
- 上越漁業協同組合
- 各種漁船

その他

- 株式会社ブルボン上越工場
- 株式会社ナルス
- 株式会社ウオロク
- 株式会社コメリ
- 株式会社　宮崎商店
- 日本純良薬品株式会社
- デンカ株式会社青海工場
- 信越化学工業株式会社
- 新潟太陽誘電株式会社
- 日立Astemo株式会社
- 信越ポリマー株式会社
- 新越部品株式会社
- ナミックス株式会社
- くびき野森林組合
- 田辺工業株式会社
- 株式会社ミタカ
- 株式会社谷村建設
- 株式会社笠原建設
- 相村建設株式会社
- 株式会社草間組
- 株式会社古川組
- 株式会社　澤井商事
- 福田道路株式会社
- 積水ハウス建設
上信越株式会社
- 株式会社　銀座
- 陸上自衛隊・海上自衛隊
一般曹候補生
- 日本相撲協会

※記載の進学先就職先は一部になります

新潟県立海洋高等学校
NIIGATA PREFECTURAL KAIYO HIGH SCHOOL

〒949-1352 新潟県糸魚川市大字能生3040
TEL.025-566-3155／FAX.025-566-4781
E-mail : school@kaiyou-h.nein.ed.jp

アクセス

海洋高校は、日本海を見下ろす糸魚川市能生の井隈台にあります。
能生は、糸魚川と上越の中間に位置する漁業と観光のまちです。
日本海ひすいライン能生駅から徒歩10分。

詳しくはホームページで
https://kaiyou-h.nein.ed.jp

海洋高校の情報が盛りだくさん
航海日誌 検索









県外を含めた遠方からの生徒も入学できます / 遠方からの生徒のために男子寮および女子用宿舎があります